

令和7年度 第6学年 学級経営案

男 12人 女 15人 合計 27人 担任 山下 苑子

学校教育目標

ふるさとを愛し、一人一人が輝く
徳・知・体の調和のとれた児童の育成

- 【なかよく】 思いやりをもち、助け合う児童
- 【かしこく】 進んで学び、よく考える児童
- 【元気よく】 たくましく、ねばり強い児童
- 【ふるさと】 郷土に学び、郷土を愛する児童

湯前つ子5つのすがた「あいうえお」
あ 明るい挨拶、大きな返事
い いい聞き方、目、耳、心で
う 美しい場所、もくもく掃除
え 笑顔の言葉、思いやり
お 落ち着いた生活、守ろう時間

学級目標

- 誰にでも思いやりの心をもち、仲間と支え合う児童
- 自ら課題を設定し、よく考え、解決しようとする児童
- 何事にも粘り強く取り組み、最後まであきらめない児童

具体的な取組

評価			
	I	II	III

評価				
目標児童像	かしこな学力	1 基本的な学習規律を徹底し、集中して学習に向かえるようにする。		
		2 学習の終末で振り返りの時間を計画的に取り入れることで、児童が「わかつた」「できた」を実感できるようにする。		
		3 家庭学習や朝自習の時間に、漢字・計算等の学習を取り入れることで、基礎・基本事項の定着を図る。		
		4 対話活動において教師が適切にファシリテートを行うことで、児童の考えが深まるようにする。		
	豊かな心	1 先生や友達、地域の方への気持ちの良いあいさつや返事について、日常的指導を行い、児童が自発的にできるようにする。		
		2 思いやりのある行動を積極的に取り上げ、褒め・認めることで、互いに支え合う人間関係作りができるようにする。		
		3 道徳科の授業と児童の日常生活を結びつけることで、児童の豊かな心を育むようにする。		
		4 学校アンケート等で気になる児童に教育相談を行うことで、安心した学校生活が送れるようにする。		
人権教育	元気な体	1 休み時間の外遊びや、体育科の授業において十分な運動量を確保することで、児童の体力の向上を図る。		
		2 休日前の指導や学級通信等で「早寝・早起き・朝ごはん」について保護者への啓発を行うことで、児童が健康的なライフスタイルを送れるようにする。		
		3 安全に生活するためにふさわしい行動について日常的に指導を行うことで、児童の安全・防災意識を高める。		
	郷土愛	1 各教科等で地域の人材を活用した学習を行うことで、郷土を大切にする気持ちを高める。		
		2 地域でお世話になった方に感謝の気持ちを伝える活動を行うことで、郷土への愛着を深める。		
	特別支援教育	1 児童の視覚支援となるよう、ICT機器を有効に活用する。		
		2 教師が模範となることで、教室の言語環境を整える。		
		3 授業や行事等で中学校と連携をとることで、児童が安心して進学ができるようにする。		

学期評価 (達成状況 達成← 4、3、2、1 →未達成)